

総合的な学習の時間「大切な人の笑顔を守ろう！防災プロジェクト」 ～地域の方とめざせ減災～

本単元で育成する資質・能力

知識・技能 思考力・判断力・表現力 学びに向かう力・人間性等

- ◇ 日 時 令和5年10月18日（水） 5校時
- ◇ 学年・組 第5学年2組 （計36名）

単元について

◇単元観

本単元は、社会科「日本の国土とわたしたちの暮らし」「世界から見た日本」「自然災害から人々を守る」の単元とかかわらせ、広島県に頻発する異常気象による土砂災害や川の氾濫、頻発する地震や近々起きるのではないかと予想されている大地震などから、自分や家族、地域の方たちの命を守るという観点から意欲的に学習を進めることができる単元であると考えます。また、理科「台風と天気の変化」「流れる水の働き」では、身近に起きた土砂災害を科学的に分析する。家庭科「ごはんのみそ汁をつくろう」と特別活動「野外活動」を災害が起きた際に避難所で行われる「炊き出し」や避難所生活が続いた際の食事の仕方等と関連付け、自分たちにできることを考えながら学習を進めます。さらに、広島県危機管理監みんなで減災推進課や広島ガス株式会社等と連携を取り、ゲストティーチャーとして招いて学習を進めることで、取組の質をあげることができると考えます。実際に自分が住む府中町の取組についての学習をすることで、児童もより自分事として考えることができ、主体的に学習を進めていくことができる単元である。

◇児童観

本学級の児童は、第4学年の総合的な学習の時間「身近な自然まんきつプロジェクト」において、「環境」をテーマにして、主体的に実態を調べたり課題を発見したりしている。

理科で育てたヘチマをたわしに加工してその効果について発表したり、自然観察園をみんなの居心地の良い場所にするために話し合いを行ったりした。自分がやりたい活動ごとにグループを作り、低学年の児童にも自然に興味をもってもらえるように、花の名前の看板を立てたり、学校の自然観察園でより自然に親しめるよう、校内放送で呼びかけを行ったりした。このような活動を通して、見つけた課題を解決する方法やそれを伝える方法を考えながら学習をしてきている。そのため、自分たちで考えて発見した課題を試行錯誤しながら解決していくことの大切さやそれをまわりの人に伝えることの意義を感じ取ってきている。

4月からは、社会科「日本の国土とわたしたちの暮らし」「世界から見た日本」で日本の特色を学んだり世界地図に触れたりする中で、過去5年間の地震発生場所を示す世界地図と出合った。そこで、日本は地震大国だということを再認識し、防災学習の大切さを実感するとともに学習を進める意欲をもつことができた。また、広島県が勧めている「みんなで減災」県民総ぐるみ運動の一つである、出前授業を受け、マイ・タイムラインを使いながら避難経路を確認したり、防災バッグに備えておくべきものをクラスで話し合ったりした。また、水害が起こった時の行動の仕方をVRで体験することで、実際に被害が起きた時の様子を一人一人が想像し、自分事として考えることができた。

そして被災した状況を想像していくうちに、ライフラインの重要性に気付き、広島ガス防災教室による出前授業で学びを深めた。ガスが止まった時に代用できるものを知ったり、今から備えておくべきこ

と改めて学んだりし、広く防災・減災について考えることができた。さらに、自分たちが調べてみたいことや体験してみたいこと、みんなに伝えたいことが広がってきている。

表 総合的な学習の時間に関するアンケートの結果（9月）

項目	肯定的回答 (とてもそう思う) %
①総合的な学習の時間の勉強は好きですか。	91.7 (77.8)
②ペアトーク・グループトークでは、自分の考えと比較していますか。	100.0 (54.3)
③ペアトーク・グループトークでは、自分の考えが広がったり深まったりしていますか。	97.2 (66.7)
④伝える相手に伝えたいことが分かってもらえるように表現方法や言葉を工夫していますか。	100.0 (63.9)
⑤相手の意見を受け入れながら、自分の意見も納得してもらえるように話していますか。	97.2 (61.1)
⑥これまでに学習したことを生かして、めあてを達成するために考えたことを実行していますか。	100.0 (69.4)
⑦グループのメンバーと一緒に、あきらめしないで主体的に学習を深めていますか。	97.2 (77.8)

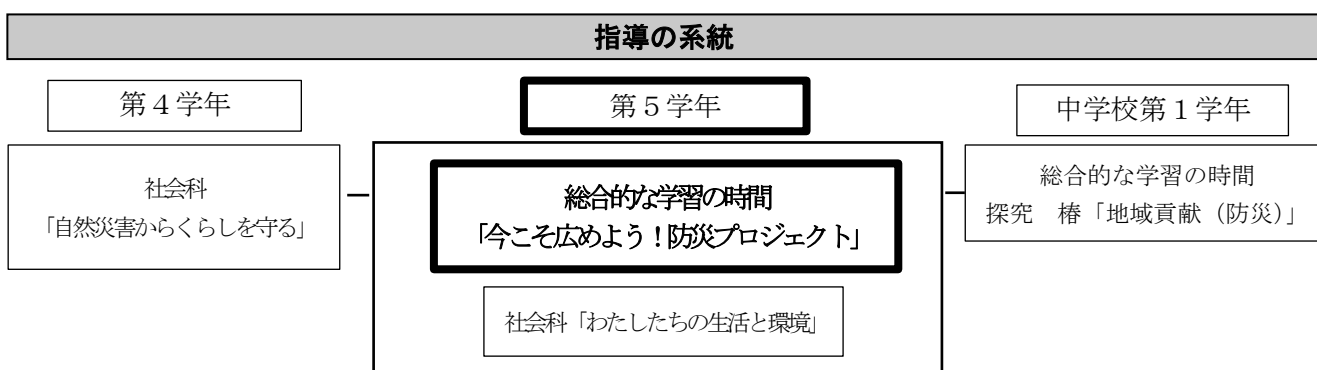
表に示すとおり、「①総合的な学習の時間の勉強が好き。」と回答したのは91.7%で「⑦グループのメンバーと一緒に、あきらめしないで主体的に学習を深めている。」と回答したのは97.2%であった。総合的な学習の時間に主体的に学習を進めている児童が多いといえる。

「②ペアトーク・グループトークでは、自分の考えと友達の考えを比較している。」と回答した児童は100%であったが、とてもそう思うと回答したのは54.3%であった。また、「⑤相手の意見を受け入れながら、自分の意見も納得してもらえるように話している。」にも97.2%と、ほとんどの児童が肯定的な回答をしたが、とてもそう思うと回答した児童は61.1%であった。このことから、ペアトークやグループトークをする際に、自分と友達の考えを比較しようとはしているが、ただ伝えるだけの話し合いになったり、説得力をもって相手に伝えられていなかったりしている児童がいると分かった。

◇指導観

指導にあたっては、学習を進めながら折に触れて年度当初に児童と一緒に設定したプロジェクト「伝える」を確認し、意識させる。家族や地域の方に自分たちが学んだ、自然災害から命や暮らしを守る方法や共助ができる地域になることの大切さを伝える学習を行うというゴールが見えることで、より主体的に学習を進めることができると思う。また、より良いものを作り上げるためにグループで一緒に考える学習に多く取り組むことによって、自分の考えを広げたり深めたりすることができる状況にしていきたい。また、ゴールに向かう過程で、家族や地域の方に対する取材活動を取り入れ、それを整理分析することで、思考力やコミュニケーション能力も養っていきたい。

「伝える」活動については、「聞いたことがある」というような曖昧な情報を伝えてはいけないことに気付かせる。命や暮らしを守るための学習であるため、情報源をはっきりさせること、信憑性の高い情報を選択することを意識して学習を進めさせたい。また、情報収集の方法をインターネットや本に頼りすぎず、自分たちの足で、自分たちだからこそ得られるものを大切にしていく。それによってより、伝えたい相手を思った活動になるであろう。「助けられる人」から「助ける人」になるために本当に必要な情報、伝える相手にふさわしい表現方法は何かグループで考えながら活動を行っていく。



単元の目標

- 災害から家族や地域の方など自分の大切な人たちを守っていくために、自分にできることは何かを考え、グループで学んだり体験したりすることを通して、防災のための安全な町づくりやそれに携わる人々について関心を持ち、災害から地域を守るために自分が出来ることを考え、実践しようとする。

単元の評価規準と本校で育成する資質・能力の関連

	本校で育成する資質・能力		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
	関連付けて考える力	伝わるように表現する力	主体的にやりきる力
S	<ul style="list-style-type: none"> 新しく知った事実と、これまでに学習したことを関連づけ、新たな知識として獲得し、具体的な活用場面をイメージしている。 ペアトークやグループトークで自分の意見と友達の意見を比較しながら自分の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝えたいことが分かってもらえるような表現方法を選択したり、場面に応じた言葉を使って自分の考えを述べたり質問に答えたりしている。 相手の意見を受け入れながら、自分の意見も納得してもらえるように話している。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを生かし、目標を達成するための具体的な方法を考えて実行し続けている。 グループ等で協働し学習を深めながら、あきらめないで最後まで主体的に取り組んでいる。
A	<ul style="list-style-type: none"> 新しく知った事実と、これまでに学習したことを関連づけ、新しい知識として獲得している。 ペアトークやグループトークで自分の意見と友達の意見を比較しながら自分の意見を述べている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝えたいことが分かってもらえるような表現方法で自分の考えを述べている。 相手の意見を受け入れながら、自分の意見も話している。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを生かし、目標を達成するための具体的な方法を考えて実行している。 グループ等で協働し、あきらめないで最後まで主体的に取り組んでいる。
B	<ul style="list-style-type: none"> 新しく知った事実を新しい知識として獲得している。 ペアトークやグループトークで自分の意見と友達の意見を比較しながら考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に伝えたいことが分かってもらえるように自分の考えを述べている。 相手の意見を聞いたり、自分の意見を話したりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> これまでに学習したことを生かし、目標を達成するための具体的な方法を考えて実行している。 グループ学習に取り組み、あきらめないで最後まで学習している。

指導と評価の計画（全 70 時間）

	学習内容	他教科との関連	評 価
			評価規準（評価方法）
1 災害について知ろう (10)	<p>情報の収集</p> <p>○過去の土砂災害の様子や世界の地震発生状況の地図等から、防災について学んでいきたいという気持ちをもつ。</p>	<p>社「日本の国土とわたしたちの暮らし」「世界から見た日本」</p> <p>理「台風と気候の変わり方」「流れる水の働き」</p>	<p>知 4年生の社会科で学習したことや豪雨災害が起きた時に避難したことなどを思い出し、主体的に学習していこうとする。 (行動観察・振り返り)</p>
	<p>課題の設定</p> <p>○これから、どんな学習がしていきたいか考え、プロジェクトのゴールを決める。</p> <p>○大まかな計画を立てる。</p>	<p>社「日本の国土とわたしたちの暮らし」「世界から見た日本」</p>	<p>思 何のため、どんな力をつけるための学習なのかを確認し、意見を出し合いながら計画を立てている。 (行動観察・振り返り)</p>
	<p>情報収集</p> <p>○以前作成したマイ・タイムラインを使って、避難場所や避難経路を確認する。</p> <p>○VR体験を行い、避難行動の仕方を知る。(豪雨災害)</p> <p>○災害が起きてライフラインが止まった時の行動を知る。</p> <p>○これまで調べてきた中で、自分が特にどんなことに興味をもち、どんなことを調べたいかを考える。</p>	<p>社「わたしたちの生活と環境」</p>	<p>知 ゲストティーチャーの話をしっかり聴いたり、問われていることについて意見を出し合ったりしながら考えている。 (行動観察・振り返り)</p>
2 尋ねたり体験したりしよう (25)	<p>課題の設定</p> <p>○自分が詳しく調べていきたいテーマごとにグループを作り、どんなことを調べていくかを考える。</p> <p>○伝えたい相手を考える。</p>	<p>国「言葉について考えよう」</p>	<p>思 これまで学習したことを想起しながら、自分が興味を持ったことについて意見を出している。 (行動観察・振り返り)</p>
	<p>情報収集</p> <p>○グループで調べたいこと、体験したいことを考え、それを実行していくために何をしたら良いかを話し合う。</p> <p>○学校の災害対策について調べたり、避難経路の確認をしたりする。</p> <p>○単元のゴールを再確認し、学習の計画を立てる。</p> <p>○「伝える」に向けてそれぞれのグループがやるべきことを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・府中町のハザードマップには掲載されていない情報を実際に調査する。 ・自分の住んでいる地域の危険な場所や安全な場所の情報を、友達に詳しく伝えたり質問したりし、ハザードマップの作成に必要な情報を選択する。 (1/25 本時) ・水分峡で間伐の体験を行う。 ・地域のことについてインタビューをする。 ・水害に備えるための土嚢や水嚢を実際に作る。 	<p>国「言葉について考えよう」</p> <p>国「たがの立場を明確にして、話し合おう」</p>	<p>思 相手の意見を受け入れながら自分の意見もしっかり述べている。(行動観察・振り返り)</p> <p>学 これまで教科等で学習したことを生かして、グループで協力して取り組んでいる。 (行動観察・ワークシート・振り返り)</p> <p>思 課題を解決するためにタブレットを活用している。(行動観察・振り返り)</p> <p>思 自分の考えと他者の考えを比較したり関係付けたりして話し合っている。 (行動観察・ワークシート・振り返り)</p>

3 命を守る方法を伝えよう (20)	整理・分析 ○調べたり、体験したりしたことを整理・分析し、家族や地域の方、低学年の児童に伝える方法を考える。	☑ 「言葉について考えよう」	☑ どのような方法で伝えるのかを、意見を出し合いながら話し合っている。(行動観察・振り返り)
	まとめ・表現 ○伝えたい相手に理解してもらえそうな表現方法や言葉を選択したり、工夫したりしてまとめる。 ○「防災フェスタ(仮)」の案内状や準備物を作成する。 ○「防災フェスタ(仮)」を実行する。 ○振り返りをし、新たな課題を見つける。	☑ 「言葉について考えよう」	☑ 相手の立場に立って、表現方法や言葉を選択している。(行動観察・振り返り) ☑ 思うようにできないことがあっても、あきらめずに意見を出し合いながら準備をしている。(行動観察・振り返り) ☑ 臨機応変に行動したり、適切な言葉を使ったりしている。(行動観察・振り返り) ☑ 新たな課題を見つけるために自分たちにできることを考え続けている。(行動観察・振り返り)
4 できることを考え、実行しよう (15)	まとめ・表現 ○大好きな地域を災害に強い地域にするために、自分たちにできることを実行する。 ○学習を振り返り、取り組み続けていけることを見付ける。	☑ 「わたしたちの生活と環境」	☑ 相手の意見を受け入れながら自分の意見をはっきりと述べ、よりよいまちづくりについてのアイデアを出している。(行動観察・振り返り)

本時の学習 (37 時間目 / 全 70 時間)

◇本時の目標

地域みんなが安心して暮らすために、自分が住んでいる地域の危険な場所や安全な場所について、実際に調査した情報を出し合い、ハザードマップに必要な情報を選択することができる。

◇学習の流れ

学習活動	指導上の留意点 (◇) 予想される児童の反応 (・)	評価規準 資質・能力 (評価方法)
1 学習計画を振り返り、付けた力を確認する。	◇話し合ったり質問したりしやすいように、避難グループの児童はオクリンクで送ってもらったインタビュー動画や音声などの情報をあらかじめ確認しておく。 ◇今までの学習を振り返り、今日の学習が単元のどこに位置するか確認することで、学習の見通しがもてるようになる。 ・避難グループが、自分の住んでいる地域の危険な場所や安全な場所を教えてほしいと言っていたね。 ・豪雨を想定してハザードマップに情報を入れていこう。 ・今日も話し合いが多いから、相手の意見を受け入れる力が付きそうだよ。	

<p>2 めあてを確認する。</p>		
<p>S: 調査した危険な場所や安全な場所の情報を、写真や動画を使いながら友達に伝えたり質問したりし、ハザードマップに必要な情報を選ぼう。</p>		
<p>A: 調査した危険な場所や安全な場所の情報を、友達に伝えたり質問したりし、ハザードマップに必要な情報を選ぼう。</p>		
<p>3 必要な情報をハザードマップに選択する。</p>	<p>◇正しい情報を選択できるよう、ホワイトボードに視点（「豪雨を想定しているかどうか」「過去の経験に基づくものかどうか」「実際に確認した危険な場所と安全な場所かどうか」）を提示しておく。</p> <p>◇地域ごとの情報をすぐに地図上に記すために、ジャムボードを活用する。</p> <p>◇動画や音声などの情報を共有しやすくするために、オクリンク用のタブレットはグループに1台にする。</p> <p>◇調べたり話し合ったりするうちに論点がずれていかないように声をかける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お家の人にもらったメッセージを使って危険な場所を伝えるよ。 ・ここには溝があるし、溝の中にゴミがたまっているんだ。もし避難する時にはこっちの道がいいね。 ・川は近くにはないけどここは少し土地が低いから注意が必要かも。 ・深みにはまりそうな場所やマンホールがある場所も気を付けた方がいいね。 ・山が近い場所はどうしたらいいかな。 <p>◇より詳しい情報を地図上に記すために、自分の担当地区以外で知っていることがないか話し合う時間を設ける。</p>	<p>☒ 自分の考えと他者の考えを比較したり関連付けたりして話し合っている。(行動観察・ワークシート・振り返り)</p> <p>☑ 課題を解決するためにタブレットを活用している。(行動観察・振り返り)</p> <p>☑ 「たがいの立場を明確にして、話し合おう」</p>
<p>4 危険な場所や安全な場所を全体で交流し、自分の担当地域以外で知っていることを伝える。</p>		
<p>5 振り返りをし、次時の活動の見通しを持つ。</p>	<p>◇「避難グループと一緒に、調べ学習をして分かったこと」「今日の学習が自分たちのグループ活動につながりそうなこと」の2つに視点を絞ることで、次時につながる振り返りを書くことができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこに溝があるか分かったので、溝グループの活動に生かせそうだ。 ・わたしたちお年寄りの一人暮らしグループも一人暮らしの方がどこに住んでいるかもっと知りたいのでクラスみんなに協力してもらいたいです。 	

本時のルーブリック（関連する資質・能力）

	思考力・判断力・表現力（関連付けて考える力・伝わるように表現する力）
S	・自分の住んでいる地域の豪雨時を想定し、実際に実感した危険な場所や安全な場所についての情報を、グループの友達に詳しく伝えたり質問したりして、ハザードマップに必要な情報を選択している。
A	・自分の住んでいる地域の豪雨時を想定し、実際に調査した危険な場所や安全な場所についての情報を、グループの友達と伝え合い、ハザードマップに必要な情報を選択している。
B	・自分の住んでいる地域の豪雨時を想定し、実際に調査した危険な場所や安全な場所についての情報を、グループの友達と伝え合っている。

板書計画

「大切な人の笑顔を守ろう！防災プロジェクト」
～地域の方と目指せ減災～

Sめあて：調査した危険な場所や安全な場所の情報を、写真や動画を使いながら友達に伝えたり質問したりし、ハザードマップに必要な情報を選ぼう。

Aめあて：調査した危険な場所や安全な場所の情報を、友達に伝えたり質問したりし、ハザードマップに必要な情報を選ぼう。



「ハザードマップに掲載した方がよい情報」を選ぶ視点

- ・豪雨を想定しているかどうか。
- ・過去の経験に基づくものかどうか。（インタビューなど）
- ・実際に確認した危険な場所と安全な場所かどうか。

【今日の活動】

地域グループごとに必要な情報を選択する。

黒板

瀬戸ハイムマップ

・山が近くにあるから土砂崩れの危険があるからマップに載せよう。

山田マップ

・溝があるけど、深いから雨の水はたまらないかも。マップに載せるべきかなあ。

瀬戸ハイムマップ2

・マンホールから水が噴き出すかもしれないから、避難経路としてはどうかなあ。

八幡マップ

・八幡川が洪水浸水想定地域に指定されたいよ。みんなに伝えたいね。

宮の町マップ

・榎川が近くにある豪雨の時は水が堤防を越えるかもしれない。危険だからマップに載せた方がいいね。

【単元の計画】

1. 知る。
2. 調べる、作る、確かめる。
3. まとめる、伝える。
4. 新たな課題を見つける。

⑤

第5学年 総合的な学習の時間 単元構想図 (全70時間)
大切な人の笑顔を守ろう！防災プロジェクト
～地域の方と目指せ減災～

単元の見直し

災害から自分や家族・地域の方の生活を守っていくために、自分たちにできることについて学んだり体験したりすることを通して、防災のための安全な町づくりやそれに携わる人々について関心を持ち、府中東小学校区の防災の在り方や地域の方への感謝について考え、地域のために役立つとする。

単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①災害大国日本の現状を知り、災害から身を守るための取組を理解している。 ②災害に備える方法について適切に情報を収集している。 ③減災についての取組を自分たちだけではなく、周りに人に広げることの大切さを理解しているのは、探究的に学習してきた成果だと気付いている。	①災害が起きていることを示す世界地図と社会で学習した世界地図を比較することで、課題を設定し、見直しをもって計画を立てている。 ②安易な方法ではなく、自分たちの周りの人の意見を吸い上げることができるよう情報を収集している。 ③予想と結果を比較しながら、分析している。 ④相手や目的、意図に応じた表現で減災について伝えている。	①友達の意見を受け入れながら、自分の意見を述べている。 ②「ずっとの問い」に立ち返りながら、課題を見つけ続けながら学習を進めている。 ③これまでに学習したことを生かし、目標を達成するための具体的な方法を考え実行し続けている。

小単元のゴールに対するルーブリック

小単元のゴール		
「防災フェスタ(仮)を開こう！」 大切な人たちの笑顔を守り、これからも府中町で一緒に暮らしていくために、自分たちの家族や府中東小学校の子ども達、地域の方に、学んだことを分かりやすく伝えよう。		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・受けた質問と、これまでに学習して得た知識を関連づけて考え、的確な回答を見出すとともに、それを新たな知識として獲得し、新たな課題を見つけている。	・伝える相手に伝えたいことが分かってもらえるように、丁寧な言葉を使ったリ、易しい言葉に言い換えたりして発表したり質問に答えたりしている。	・予測していなかった事態に遭遇した時に、グループでアイデアを出し合い、あきらめないでそれに対処している。
・受けた質問と、これまでに学習して得た知識を関連づけて考え、的確な回答を見出している。	・伝える相手に伝えたいことが分かってもらえるように、丁寧な言葉を使って発表したり質問に答えたりしている。	・予測していなかった事態に遭遇した時に、グループで出したアイデアで対処しようとしている。
・受けた質問と、これまでに学習して得た知識を関連づけて考え、的確な回答を探している。	・伝える相手に伝えたいことが分かってもらえるように、丁寧な言葉を使って発表している。	・予測していなかった事態に遭遇した時に、グループで出したアイデアで対処しようとしている。

他教科等及びSDGsとの関連

〈国語科〉「話す・聞く」「書く」
 〈社会科〉「わたしたちの国土」「わたしたちの生活と環境」
 〈体育科〉「けがの防止」(保健)
 〈道徳〉「社会や公共のために役立つ」「お父さんは救急救命士」「わたしのボランティア体験」
 「美しいもの、気高いもの、大いなるもの」「一本松は語った」



明日も明後日も大切な人たちと府中町で笑顔で暮らしていくために、自分たちには何ができるだろうか。

4 できることを考え、実行しよう

○わたしたちの地域を見直そう。(まとめ・表現)
 ・私たちが改善できることはないかな。調べてみよう。
 ・地域の方が困っておられたことが、解決できないかな。どこに相談すればよいだろうか。

○グループで調査や体験をしよう。(情報収集) (1/25 本時)
 ・お家の人や地域の人に喜んでもらうために準備をしよう。
 ・校区のハザードマップを作るために本当に必要な情報を選びたいね。
 ・水分峡で間伐の体験をさせてもらおう。豊かな森にして、みんなの生活を守りたいね。
 ・お年寄りの一人暮らしの人って校区にもたくさんいるんだな。

1 災害について知ろう

○知りたいことを調べよう。(情報収集・課題発見)
 ・書籍やインターネットで調べてみよう。
 ・防災出前講座で水害の恐ろしさを知ったよ。今から備えが必要だね。
 ・広島ガスの方にライフラインの大切さを教えてもらったよ。

○ゴールを決めよう。(課題設定)
 ・家族や友達、地域の方とこれからも府中町で一緒に過ごしていきたい！学習したことは大切な人たちに伝えたいな。
 ・ゴールは「伝える」にしよう。



助けられる人から助ける人になるために自分たちには何ができるだろうか。

3 命を守る方法を伝えよう

○「防災フェスタ(仮)」を開こう。(まとめ・表現)
 ・楽しんでもらえて、実行してみようと思ってもらえるように、説明するぞ。
 ・突然の質問に答えるのは難しいな。どんな質問がきてもいいように準備をしておこう。

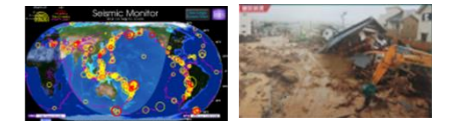
○「伝える」計画を立てよう。(整理・分析)
 ・誰に伝えるかによって、表現方法は変えた方がいいと思うよ。
 ・学習したことを一緒に体験してもらいたいかな。

2 尋ねたり体験したりしよう

○もっと調べてみたいこと、体験してみたいことを考えよう。(課題設定)
 ・お家の人や地域の方が本当に必要な情報って何かな。
 ・土砂災害が起きにくい森にするために自分たちに何かできないかな。
 ・府中町のハザードマップにはまだ載っていない危険な場所があるかも。



「キッズ防災士」全員合格
おめでとう！！



○日本はどこにあるのだろうか。何が起きたのだろうか。(情報収集・分析)
 ・この世界地図を見てみると、丸の印で日本が隠れているよ。日本には地震がよく起きているということが分かるね！
 ・広島県は土砂災害もたくさん起きるから、防災の学習をして、みんなを守れる人になりたいな。

